

荏原グループと皆様をつなぐコミュニケーションマガジン | 2017 WINTER

The EBARA

報告書 | 2017年4月1日 — 2017年9月30日

巻頭
特集

荏原の基礎知識

EBARA

Looking ahead, going beyond expectations

Ahead > Beyond

証券コード: 6361

創業の精神「熱と誠」



与えられた仕事をただこなすのではなく、
自ら創意工夫する熱意で取り組み、
誠心誠意これをやり遂げる心をもって仕事をする。こと。
そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば、
相手に通じないことはない。

企業理念

水と空気と環境の分野で、優れた技術と
最良のサービスを提供することにより、
広く社会に貢献する。

ブランドステートメント

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead Beyond

業界を牽引するリーディングカンパニーとして、期待
や想像を超える製品やソリューションをご提供してい
きます。また、“Ahead, Beyond”には、決して現状に満足
することなく、常にさらなる高みを目指し挑戦し続ける
当社の企業精神も込められています。

中期経営計画 「E-Plan2019」 成長への

世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカへとさらなる
全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長へ

飽くなき挑戦

発展を目指すために、
の飽くなき挑戦」を実施していきます。



基本方針 ▶ 1

当社グループの収益基盤を市況変動によらない
強固なものとし、さらなる成長を図る

基本方針 ▶ 2

全自動化工場を核として
生産プロセスと
業務プロセスの刷新を図り、
製品競争力強化と
収益性改善を実現する

基本方針 ▶ 3

収益性の改善と
安定化のために
サービス&サポート事業を
拡大する

基本方針 ▶ 4

安定した成長と収益が期待できる事業においては、海外市場シェア向上と製品ラインナップ拡充を目的として、市況変動の影響を大きく受ける事業においては、サービス&サポート事業の領域拡大を目的として、M&Aを有効な手段として活用する

基本方針 ▶ 5

各事業のグローバル展開を支えるため、コーポレートの戦略的機能を強化するとともに、全グループにおいて定常的な業務の集約・効率化を図る

2019年度において達成すべき目標

投下資本利益率 (ROIC) : 8.0%以上

売上高営業利益率 : 9.0%以上

風水力事業	8.5%以上
ポンプ事業	8.0%以上
コンプレッサ・タービン事業	11.0%以上
冷熱事業	7.0%以上
環境プラント事業	11.0%以上
精密・電子事業	12.0%以上

目次

- 01 イントロダクション
- 03 巻頭特集「荏原の基礎知識」



- 05 トップメッセージ



- 07 セグメント情報



- 09 海外展開
- 10 トピックス



- 11 ステークホルダーとの関わり
- 13 財務情報
- 14 企業情報

荏原の基礎知識

1912年の創業以来、荏原は社会の課題に応える製品・サービスを開発、提供し、事業を拡大してきました。

たとえば…

水と空気の分野の課題

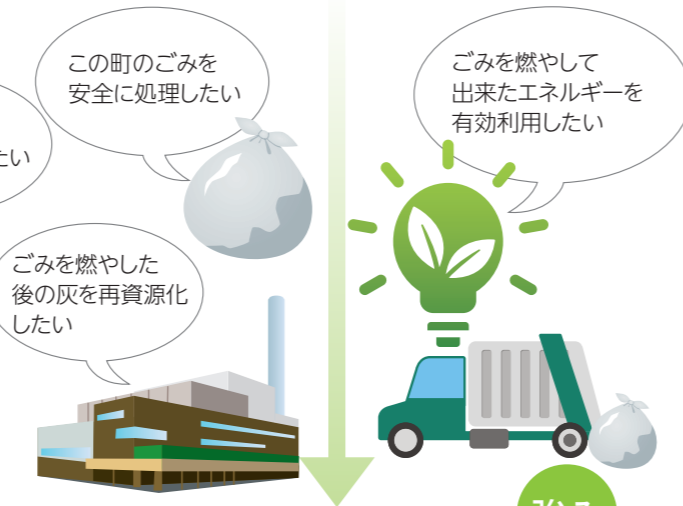


風水力事業

強み

多様な市場への対応力 水関連施設向け 発電所向け 石油・ガス・化学プラント向け等	液化天然ガスの製造設備向け カスタムポンプ 世界シェア トップ	石油・ガスプラント(ダウンストリーム)向け コンプレッサ 世界シェア 約30%
藤沢工場における標準ポンプの累計生産台数 1,700万台以上	標準ポンプ 国内シェア トップ	冷却塔 国内シェア トップ

環境の分野の課題

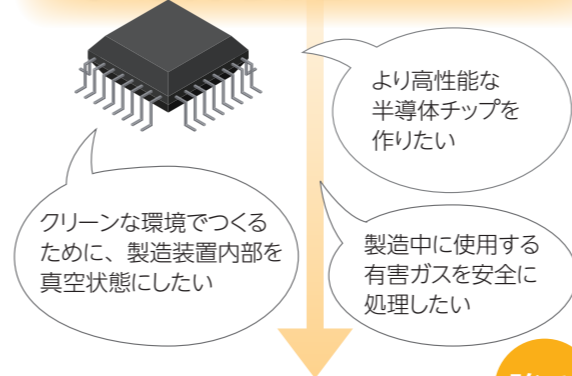


環境プラント事業

強み

国内の廃棄物処理施設 納入数 300施設以上 (46都道府県に納入)	廃棄物処理施設での 運転管理受託数 80施設以上
廃棄物処理施設 第1号納入から 半世紀以上	運転管理施設の 発電量(2016年度) 約19万世帯分

IoT、AI時代を支える半導体製造の分野の課題



精密・電子事業

強み

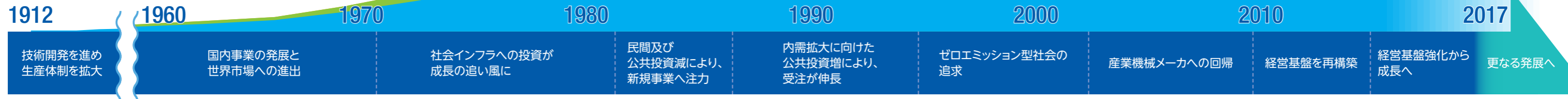
CMP装置の累計出荷台数 2,000台以上	世界のサポートショップ及びオーバーホール工場 50カ所以上
平坦度・研磨量のコントロール ナノ単位 (1mmの100万分の1)	CMP装置、ドライ真空ポンプ 世界シェア 2位

※シェアは当社調べ



売上高イメージ

創業



コーポレートデータ

研究開発・知的財産 (2017年3月末現在)	
特許保有件数 (海外含む) 3,000件以上	オープンイノベーションテーマ数 47テーマ (58機関と連携)
ダイバーシティ推進 (2017年4月1日現在)*	
新卒採用者数に占める 外国籍社員比率 13.8%	女性管理職比率 5.2% (はん用機械器具製造業 平均値2.2%) <small>厚生労働省 女性活躍推進法特集ページより</small>
コーポレートガバナンス体制 (2017年9月末現在)*	
取締役会に占める 社外取締役比率 53.8% (7名/13名)	取締役会に占める 女性取締役比率 15.4% (2名/13名)

※連結子会社除く

「稼ぐ力」を向上させ、 全事業の収益性を 徹底的に高めていきます。

代表執行役社長 **前田 東一**



第153期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、好調が継続する米国に加え、アジアでも景気の持ち直しが続いています。日本国内でも公共投資が堅調に推移し、民間設備投資も持ち直しており、全体として市況は緩やかに回復しました。

そうした中で、当社グループの受注高は、風水力事業と環境プラント事業が増加し、前年同期を上回りました。また、売上高は精密・電子事業の増加により前年同期を上回りました。営業利益についても、精密・電子事業の利益増が寄与し、前年同期を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,067億98百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は51億16百万円（前年同期比92.5%増）、経常利益は38億86百万円（前年同期比41億38百万円の改善）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億3百万円（前年同期比35億41百万円の改善）となりました。

中期経営計画「E-Plan2019」について

当社グループは、当期より2019年度を目標年度とする中期経営計画「E-Plan2019」をスタートさせました。世界規模で事業展開し成長し続ける産業機械メーカーの実

現に向けて、全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長への飽くなき挑戦」を実践していきます。

12月決算に変更したことについて

事業のグローバル化が進展する中で、グループとして決算期を12月末に統一し、業績等経営情報の開示のさらなる適時・適正化を図るため、事業年度を毎年1月1日から12月31日に変更しました。

なお、当期は決算期が3月から12月に変更になるため、業績予想については9ヵ月変則決算による数値を示しています。

株主還元について

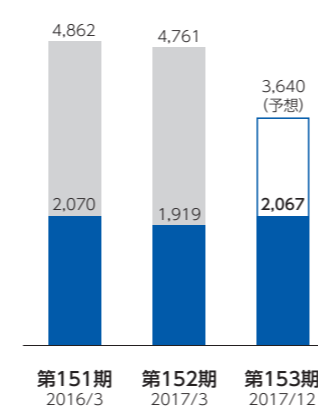
中期経営計画「E-Plan2019」において、達成目標の一つに株主還元に関する事項を設定しており、当期より、株主還元（配当・自社株買い）を拡充し、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針としています。

なお、当期の中間配当金については、1株当たり30円とさせていただきます。

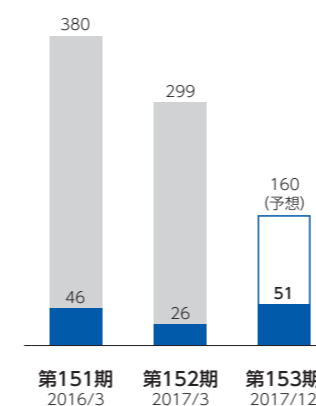
連結業績ハイライト

売上高	2,067億円	前年同期比 7.7%	▲
営業利益	51億円	前年同期比 92.5%	▲
経常利益	38億円	前年同期比 41億円	▲
親会社株主に帰属する四半期純利益	31億円	前年同期比 35億円	▲

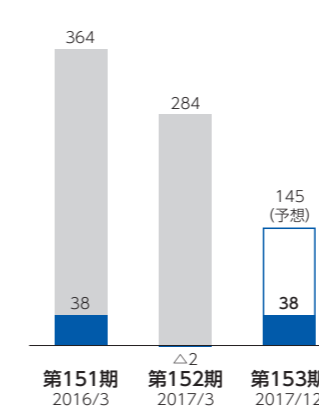
● 売上高



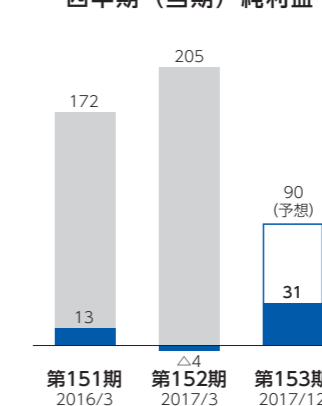
● 営業利益



● 経常利益



● 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 億円)

詳しい業績情報は
当社WEBサイトへ



<https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>

売上高 **1,189**億円
前年同期比 1.3%増

営業利益 **△50**億円
前年同期比 △0億円減

事業内容 創業以来の主力製品であるポンプを始め、風水力機械製品・システムを事業の中核とし、長年培った技術と豊富な経験をもとに、生活・産業・社会インフラを支えています。

主要製品 ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

- POINT**
- ポンプ事業は海外において水インフラの受注が前年同期を上回って推移。
 - コンプレッサ・タービン事業はアジアや中東の石油化学・石油精製プラント向けなどの案件が受注できたほか、サービス関連の受注がアジアを中心に復調。
 - 冷熱事業は国内・中国ともに受注が堅調に推移。



ポンプ



コンプレッサ



冷凍機

● スマートフォンで点検可能な給水ポンプを販売開始

風水力事業では、本年7月、スマートフォンで運転状態を簡単に確認できる給水ポンプの販売を開始しました。

給水ポンプユニットに、おサイフケータイ[®]などで使用されているNFC通信機能を国内業界で初めて搭載しました。当社開発の専用アプリをインストールしたスマートフォンを給水ポンプにかざすだけで、機器情報、運転状況などを簡単に取得でき、点検・管理作業の効率化が図れます。また、取得データを当社へ送信いただくことで、お問合せへの対応を従来以上に迅速に行うことが可能になりました。

今後も、IoTなどの先進技術を積極的に活用し、お客様の利便性を高めることにより、各種産業の発展と生活環境の向上に貢献してまいります。

※「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。



給水ポンプデータ取得イメージ図

売上高 **267**億円
前年同期比 1.1%減

営業利益 **20**億円
前年同期比 12.6%増

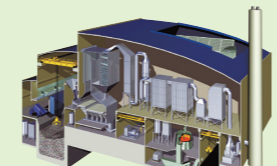
事業内容 固形廃棄物処理の分野で、施設の設計・建設から維持管理、運営までトータルソリューションを提供しており、事業活動を通じて循環型社会の形成に貢献しています。

主要製品 都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

- POINT**
- 公共向け廃棄物処理施設の建設工事（EPC）や既存施設の運転維持管理（O&M）の発注は、例年どおり推移。
 - 民間企業のバイオマス等を用いた発電施設の建設需要は例年どおり推移。
 - 長期包括事業の受注が堅調で前年同期を上回って推移。



廃棄物焼却プラント



ストーカー式焼却システム

● 桑名広域清掃事業組合「ごみ処理施設整備運営事業」を受注

環境プラント事業は、桑名広域清掃事業組合より、ごみ処理施設整備運営事業を受注いたしました。本件は、新たな可燃ごみ焼却施設の建設に加え、新ごみ焼却施設と既存のリサイクル施設を20年間一体的に運営する事業です。

自社技術による安定したごみ処理に加え、高効率ごみ発電によるエネルギー回収や施設から排出される灰の完全資源化を行う地域環境に最大限配慮した施設の建設と運営を行います。また、地域の活性化や雇用創出、環境啓発活動など地域に根ざした貢献を目指し、お客様や地域の皆様に寄り添うサービスを提供いたします。

今後も、ごみ処理施設の建設と運営を通じて循環型社会の形成に貢献し、環境プラント事業の価値向上に努めてまいります。



桑名広域清掃事業組合ごみ処理施設 完成イメージ図

売上高 **602**億円
前年同期比 29.2%増

営業利益 **79**億円
前年同期比 45.5%増

事業内容 ナノテクノロジー時代の顧客ニーズに応じた半導体製造装置、コンポーネント機器の開発から販売・サービスまで行い、さらには次世代技術に対応する装置を開発・製造しています。

主要製品 真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

- POINT**
- 顧客の半導体関連設備投資及びメモリ関連設備投資が依然として好調に推移しており、業績は好調。



CMP装置



ドライ真空ポンプ



めっき装置

● 台湾荏原精密股份有限公司の工場拡張

精密・電子事業では、台湾荏原精密股份有限公司の湖口工場を拡張し2017年4月から増産を開始しました。

台湾荏原精密股份有限公司は半導体製造大国である台湾において、今年8月に設立20周年を迎えました。現在も台湾では積極的な先端技術開発と生産設備投資が継続していることや、お客様の既存設備や機器の省エネモデルへの置き換え需要も見込まれることから、ドライ真空ポンプの現地生産及びオーバーホールの増強を目的として、節目の年である今年、湖口工場の生産能力を従来の1.5倍に増強させました。

今回の生産能力増強により地域に密着して「域産域消」を進める体制をさらに強化しお客様のニーズと信頼に応えることで、お客様との関係をより一層強固なものにし、さらなる成長を図ってまいります。



台湾荏原精密股份有限公司の湖口工場

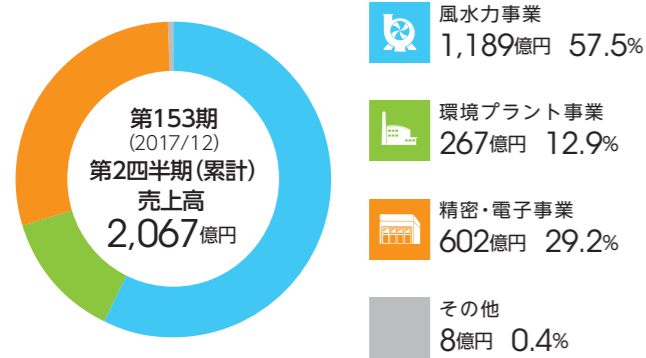


台湾荏原精密股份有限公司20周年記念のイラスト

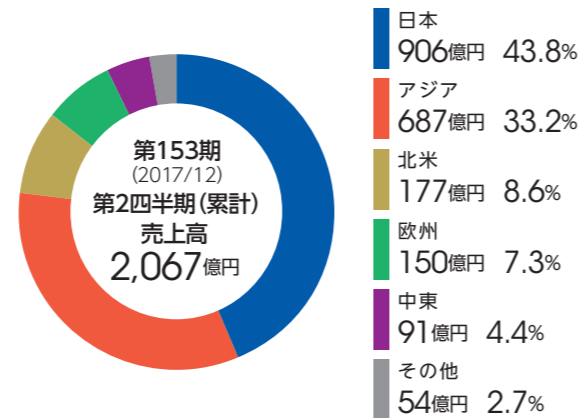
Global View

海外展開 (2017年9月30日現在)

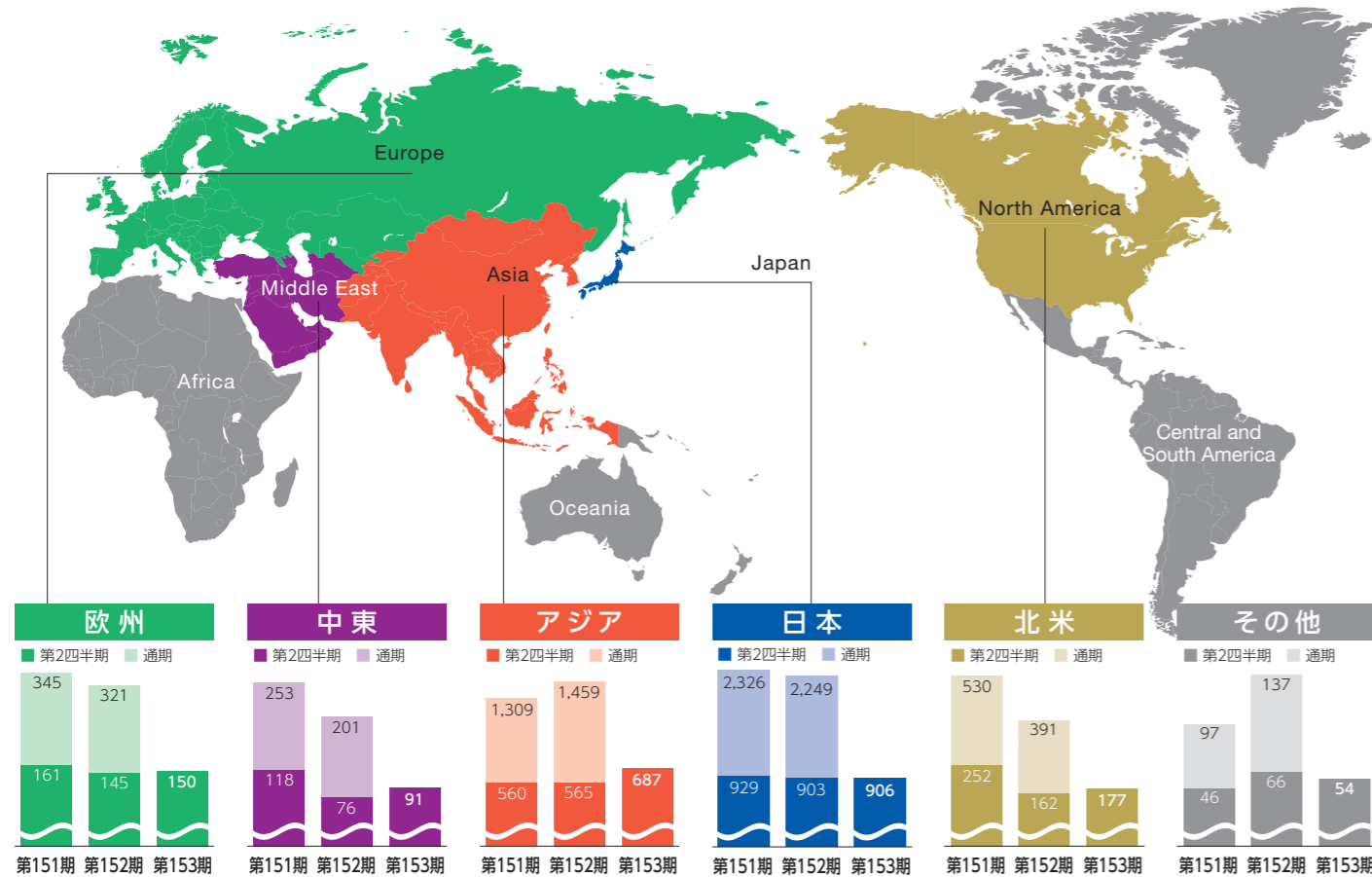
事業別連結売上高



地域別連結売上高



地域別売上高の推移 (単位:億円)



海外拠点数

66カ所

事業所	3カ所
関係会社	63社
● アジア	31社
● 北米	7社
● 欧州	10社
● 中東	5社
● その他	10社
事業所・事務所	10カ所
支社・支店・営業所	73カ所
関係会社	34社

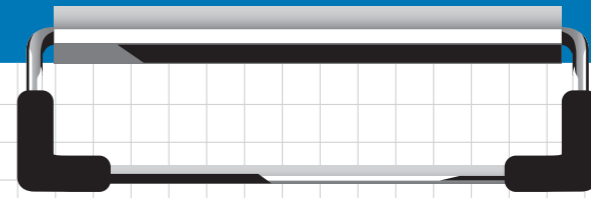
海外売上高 / 海外売上比率

1,161億円 / 56.2%



Topical News

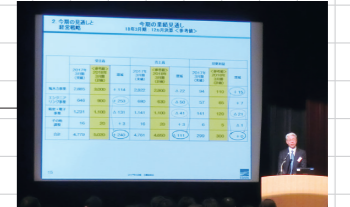
トピックス



荏原グループの動き

(2017年4月 → 2017年9月)

- 4月**
 - ブランドステートメント制定
 - 日本水泳連盟 競泳日本代表オフィシャルスポンサー契約を締結
 - 「エバラ時報 253号」発行
 - 台湾荏原精密股份有限公司の湖口工場でのドライ真空ポンプ増産開始
- 5月**
 - 2017年3月期 機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催
 - 米国ネバダ州に出力世界最大級の水中モータポンプを出荷
- 6月**
 - カンボジアでポンプの技術セミナーを開催
 - これからの当社グループの企業姿勢を込めたブランドムービーを製作
 - 第152期定時株主総会を開催
 - 桑名広域清掃事務組合「ごみ処理施設整備運営事業」を受注
- 7月**
 - 3つの新しいESG投資指数 (FTSE Russell, MSCI) に選定
 - テレビCMで企業広告映像を放映
 - スマートフォンで点検可能な給水ポンプを販売開始
 - 楽々点検ポンプが「国土交通大臣賞」を受賞
 - 銀座の夏の風物詩『Sony Aquarium 2017』に総水量14トンの大水槽を提供
- 8月**
 - 南アフリカ共和国にポンプ事業の新拠点設立 (社名: EBARA PUMPS SOUTH AFRICA (PTY) LTD)
 - サウジアラビアにポンプワークショップを開設
 - タイでポンプの技術セミナーを開催
- 9月**
 - 遠軽広域組合ごみ焼却施設長期包括的運営委託事業を受注
 - 機関投資家向け標準ポンプ事業説明会を開催
 - ベトナムでポンプの技術セミナーを開催
 - 「荏原グループCSRレポート2017」発行



10月12日に2017年度第1回個人株主向け見学会を実施しました。
詳細は次号にて紹介いたします。

地域・社会とのコミュニケーション

海外技術セミナーを開催

「地域社会とともに生きる荏原」という理念のもと、当社が培ってきた技術や経験を世界各国の社会基盤の整備や改善に役立てるため、1989年より東南アジアの大学を中心に無償の技術セミナーを開催し、企業の利益を目的としない荏原らしい社会貢献の活動を続けています。

開催地	主な講義内容
カンボジア	水道施設に使用されるポンプ場の基本計画など
タイ	配水ポンプの省エネ運転のポイントなど
ベトナム	ポンプの基礎技術やポンプ組立実習など



ポンプ組立実習の様子

今後も、ポンプを始めとする製品・サービスの提供に加え、技術セミナーなどの国際協力活動を通じて、世界中の地域社会の発展に貢献してまいります。

スポーツ協賛

公益財団法人日本水泳連盟との間で「競泳日本代表オフィシャルスポンサー」契約を締結しました。決して現状に満足することなく、常にさらなる高みを目指しグローバルに挑戦を続ける当社の企業姿勢と、世界の舞台に挑む日本を代表するトップアスリートの姿勢が合致すること、また、当社の主力事業フィールドである「水」との親和性の高さから、オフィシャルスポンサーを継続してまいります。



第93回日本選手権水泳競技大会の様子

また、当社は右記クラブチームを応援しています。



湘南ベルマーレ (サッカー Jリーグ)



川崎ブレイズサンダース (バスケットボール B.LEAGUE)



東京羽田ヴィッキーズ (バスケットボール Wリーグ)

社会責任投資 (SRI) 指標の構成銘柄への選定状況

当社は、2017年7月、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が環境、社会、ガバナンス (ESG) の取り組みに基づいた投資を行うために新たに採用した3つの指数、[FTSE Blossom Japan Index]、[MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数]、[MSCI日本株女性活躍指数]の全てに構成銘柄として選定されました。

FTSE Blossom Japan Index
[FTSE Blossom Japan Index] は、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス (ESG) について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。[FTSE Blossom Japan Index] はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



FTSE Blossom Japan

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
[MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数] は、企業が開示している情報に基づき、業種ごとにESGの取り組みが優れている企業を選定しています。



MSCI日本株女性活躍指数
[MSCI日本株女性活躍指数] は、日本企業のうち、女性の参加と昇進、多様性の推進において、従業員のジェンダーの多様性を促進し、業界をリードしている企業を選定しています。



FTSE4Good Index Series
2002年9月より [FTSE4Goodインデックス] の構成銘柄に選定されています。このインデックスはロンドン証券取引所グループに所属するFTSE Russellが開発したもので、国際的に認められたESG (環境・社会・ガバナンス) 基準を満たす企業により構成されています。



FTSE4Good

モーニングスター社会的責任投資株価指数
当社は、2017年1月4日付でモーニングスター株式会社のSRI (社会的責任投資) インデックスである、「モーニングスター 社会的責任投資株価指数 (MS-SRI)」に継続採用されました。MS-SRIは、モーニングスター株式会社が国内上場企業約4,000社の中から、企業統治、環境、社会性、人材活用の取り組みに優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した社会的責任投資株価指数です。



※ 当社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

株主様とのコミュニケーション

アンケート集計結果のご報告

第152期中間報告書で実施したアンケートには、多数の株主様からご回答をいただきました。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後のIR活動や株主様向け報告書等に反映してまいります。

●「アンケート」概要

アンケート方法	「株主様向け報告書」にアンケートはがきを同封して実施
アンケート対象者	2016年9月30日現在における株主名簿記載の株主の皆様
アンケートご回答数	1,730名

Q 充実を希望するIR活動は？



Q 株主様向け報告書で改善してほしい点は？



皆様に、より多くの情報を分かりやすくお伝えするために、報告書の誌面サイズやページ構成の見直しを行いました。

第152期定時株主総会のご報告

2017年6月23日に東京都港区のSHINAGAWA GOOS [TKPガーデンシティ品川 ボールルーム] において第152期定時株主総会を開催しました。当社は、招集通知の早期開示、集中日開催の回避、インターネットによる議決権行使など、権利行使しやすい環境の充実を図る一方、株主総会当日は、当社をより一層ご理解いただけるよう展示コーナーを総会会場に併設し、株主様に映像・パネルを用いて、事業概要やブランドステートメント等の紹介を行いました。



第152期定時株主総会の様子



総会会場に併設した展示コーナー

定時株主総会の動画は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.ebara.co.jp/about/ir/stock/shareholdersmeeting/index.html>

出席者数	402名
質問者数 (質問数)	8名 (10問)
所要時間	1時間41分

第153期定時株主総会のご案内

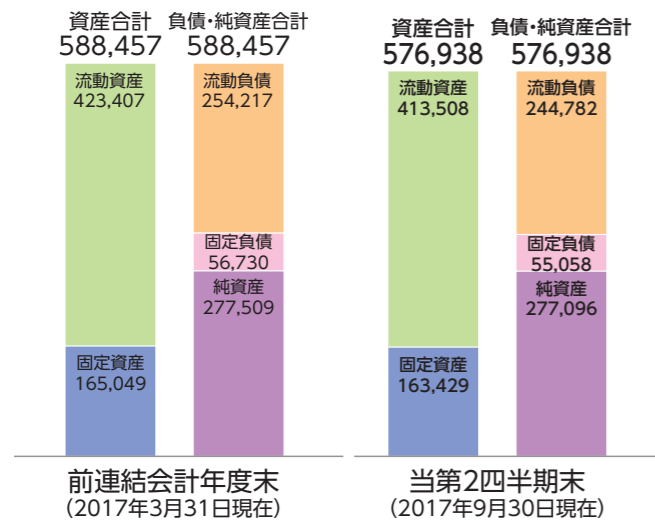
今回の定時株主総会は、決算期変更に伴い、2018年3月下旬に開催予定となっております。ぜひ、ご出席ください。

Financial Information

財務情報 (2017年9月30日現在)

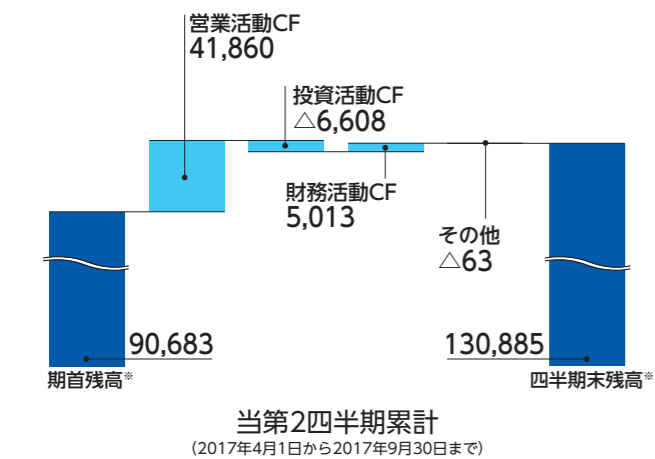
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



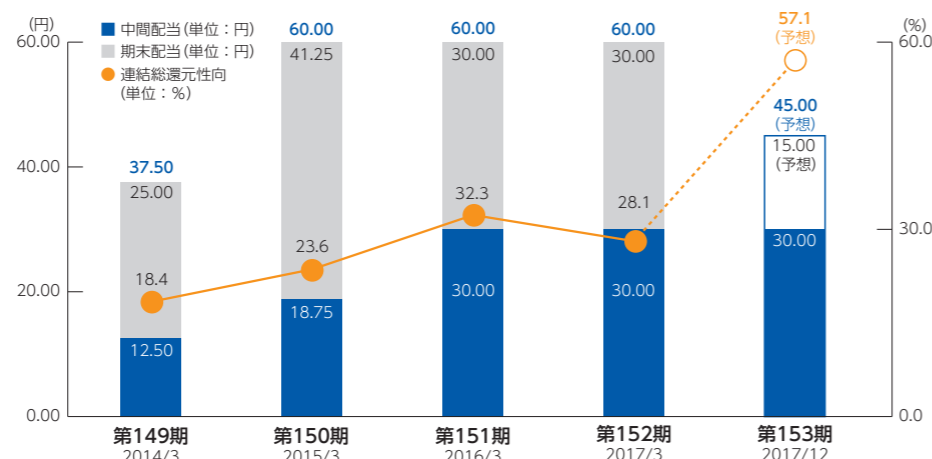
*「期首残高」及び「四半期末残高」は現金及び現金同等物の残高

株主還元

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針として位置づけ、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針です。

当期の中間配当金は1株当たり30円とさせていただきます。なお、期末配当金は、9ヵ月決算となり、12月末に決算を迎えるため、1株当たり15円とさせていただきます予定です。

● 1株当たり配当金／連結総還元性向の推移



* 当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。上記のグラフでは、過去4期にさかのぼって比較できるように第149期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。

Corporate Information

企業情報 (2017年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社荏原製作所
 本社所在地 〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
 電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)
 創業 1912年(大正元年)11月

資本金 787億円
 従業員数 4,001名(連結16,300名)
 関係会社 子会社89社(うち連結子会社57社)
 関連会社8社

役員

取締役

取締役会長 矢後 夏之助 社外取締役 山崎 彰三
 取締役 前田 東一* 社外取締役 佐藤 泉
 社外取締役 宇田 左近 取締役 藤本 哲司
 社外取締役 並木 正夫 取締役 辻村 学*
 社外取締役 国谷 史朗 取締役 大井 敦夫*
 社外取締役 松原 巨子 取締役 津村 修介
 社外取締役 澤部 肇 *は執行役員兼務

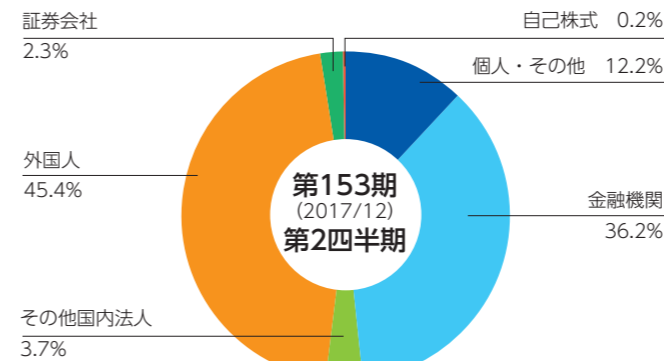
執行役員

代表執行役社長 前田 東一 執行役員 飯島 久
 執行役員専務 辻村 学 執行役員 長峰 明彦
 執行役員専務 大井 敦夫 執行役員 宮下 俊彦
 執行役員常務 野路 伸治 執行役員 勝岡 誠司
 執行役員常務 木村 憲雄 執行役員 喜田 明裕
 執行役員常務 浅見 正男
 執行役員常務 市原 昭

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 101,759,853株
 株主数 23,177名

所有者株式分布状況



大株主(上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,354	9.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,327	7.2
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	7,170	7.1
THE BANK OF NEW YORK 133522	2,599	2.6
全国共済農業協同組合連合会	2,054	2.0
株式会社みずほ銀行	2,000	2.0
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	1,757	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,550	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	1,430	1.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,425	1.4

(注)持株比率は、自己株式(188,358株)を控除して計算しています。

株式事務

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 (第153期は4月1日から12月31日までの9ヵ月)
 定時株主総会 毎年3月に開催
 基準日 12月31日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
 配当金受領株主確定日 12月31日
 中間配当を実施するときの株主確定日は6月30日(第153期は9月30日)
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>

ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 6361

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

The EBARA 創刊にあたって

これまで、当社では年2回、株主の皆様へ当社の事業活動の状況を『報告書』としてお届けしてまいりましたが、株主の皆様からいただいたご意見を反映し、『The EBARA』として新たに創刊いたしました。

『The EBARA』では、当社における事業の成果以外にも、荏原の持つ様々な価値や活動について、当社に関心を持つ幅広い読者の方々に、出来る限り平易かつコンパクトに説明することを目指しています。『The EBARA』を通じて、当社をより深くご理解いただくための一助になれば幸いです。

2017年12月



ガバナンス推進部長
江口 修

W E B サ イ ト 掲 載 資 料 の ご 案 内



会社案内

ステークホルダーの皆様へ、当社が行っている事業内容や取扱製品、沿革等の基本情報を紹介しています。

CSRレポート

ステークホルダーの皆様へ、当社のCSR活動の重点テーマである環境、社会に対する取り組みを報告しています。



統合報告書

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、当社グループが中長期的にわたり企業価値を創造するプロセスなどを紹介しています。

エバラ時報

当社の研究開発の成果や新製品・技術情報を発信する情報誌として、ステークホルダーの皆様へ、製品・技術・サービスを分かりやすく解説しています。



WEBサイトのご案内

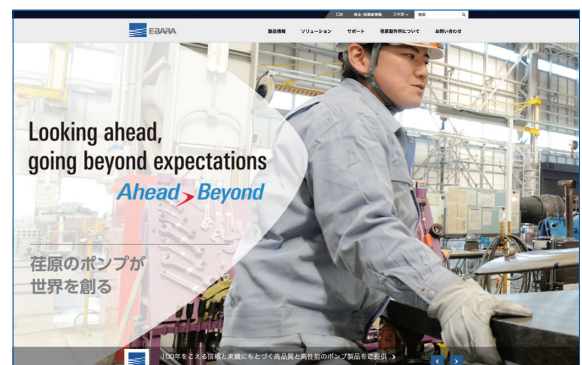
当社のWEBサイトでは、製品情報からIR情報まで、皆様へ当社をご理解いただくための各種情報を発信しています。また、最新情報だけでなく過去のIR資料の掲載や株主総会の動画配信なども行っておりますので、ぜひ、ご活用ください。



ケータイ、スマートフォンの
バーコード読み取り機能で
簡単アクセス



URL <https://www.ebara.co.jp/index.html>



株式会社 荏原製作所

発行：ガバナンス推進部 経営IR課
〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

